

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

持続可能な空港運営を通じて、航空需要の拡大および地域活性化に寄与し、もって幸福な社会の実現に貢献する

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>		
三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時にに向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	熊本空港における脱炭素の実現	2023年11月 PPAモデルでの太陽光発電設備導入 →2026年度 熊本空港のCO2排出量10%削減(2023年度比)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	国際航空貨物等による熊本物流ネットワークの拡充	国際航空貨物施設・設備の新設整備 2023年度 未整備 →2026年度 整備
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	2024年10月開業の「そらよかパーク」を活用した地域交流の場の実現	2023年度 未開催(そらよかパーク2024年10月開業) →2026年度 毎月1回以上イベントを開催

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時にに向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>	
・熊本県との「パートナーシップ連携協定」(2020年4月～) ・東海大学・熊本県との「空港周辺エリアを活用した地域活性化に関する連携協定」(2022年8月～) ・サントリーグループ・益城町との「ペットボトルの「ボトル to ボトル」水平リサイクル推進に向けた連携協定」(2023年6月～) ・仁川国際空港公社(韓国)との「連携協定」(2024年11月～) ・桃園国際空港公司(台湾)との「連携協定」(2024年11月～)	

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>		
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	地球温暖化防止のためカーボンニュートラル空港を目指す	・省エネ機器や高効率空調の導入促進 ・社員への省エネ意識啓発
取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)		前期の指標に対する実績
・2023年11月、コンセッション空港初のPPAモデルでの太陽光発電を導入。年間1,300MWhを新旅客ターミナルビルに供給すると同時に、当空港のCO2排出量を約10%削減する計画。 ・日常業務におけるエネルギー消費量の削減策として、クールビズ・ウォームビズの推進や、業務改善(ペーパーレス化、テレワーク・オンライン会議の推進、ノー残業デーの設定等)を導入。		・2023年3月開業の新旅客ターミナルの設備としてビルエネルギーマネジメントシステム(BEMS)をはじめとした、省エネ機器や高効率空調の導入完了。 ・2022年3月より全社員対象のSDGs・カーボンニュートラル研修実施。2024年度よりグループ会社社員にもSDGs研修を拡大。
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	空港機能だけでなく地域としての防災	・関係機関と連携した防災・減災体制の強化
取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)		前期の指標に対する実績
航空機事故発生時の対応マニュアルの整備や、定期的な訓練の実施により、事故・トラブルに備えています。また、西日本航空機サービス株式会社との事故対応に関する協定や、空港内の滞留客の運搬(九州産交バス株式会社)、待機場所の提供(株式会社再春館製薬所)に関する協定を締結しています。 その他、エアライン各社やグラウンドハンドリング会社、官公庁等で構成される「空港緊急連絡協議会」や、自治体等の関係各所と平時から定期的にコミュニケーションの機会を設け、有事対応に関する情報の共有等、関係構築を進めております。		航空機事故発生時の対応マニュアルの整備や、定期的な訓練の実施により、事故・トラブルに備えています。また、西日本航空機サービス株式会社との事故対応に関する協定や、空港内の滞留客の運搬(九州産交バス株式会社)、待機場所の提供(株式会社再春館製薬所)に関する協定を締結しています。 その他、エアライン各社やグラウンドハンドリング会社、官公庁等で構成される「空港緊急連絡協議会」や、自治体等の関係各所と平時から定期的にコミュニケーションの機会を設け、有事対応に関する情報の共有等、関係構築を進めております。
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	地域との共生による交流人口の拡充	・地域の発展に貢献するイベントの開催 ・地域とともに成長するための助成事業の実施
取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)		前期の指標に対する実績
地域の交通インフラとして、県内外のアクセス改善・ネットワーク拡大を図っています。まず航空便としては2024年12月までに台湾便の飛行機大型化、仁川線増便、釜山線新規就航等で週40便(往復80便)と地方空港ではトップクラスの国際線就航便数を実現します。また二次交通としては、毎日約190便のバスが運転しているほか、2023年度には熊本市内からの空港リムジンバス(空港特快バス)や阿蘇山上線を開通させることができました。 2024年10月開業の「そらよかパーク」ではイベント会社と組んで毎月定期的に地域のためのイベント等を実施予定です。		・2023年10月開業の新旅客ターミナルにて毎週土曜日にくまモンステージを継続して実施中です。また2024年10月開業の「そらよかパーク」ではイベント会社と組んで定期的に地域のためのイベント等を実施します。 ・毎年空港周辺自治体の公民館等の資器材を助成しています。

・「三側面」(前期のSDGsに関する重点的な取組み)と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。
・取組みの進捗状況には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。
・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。